

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 111	
事務事業名称		市有建築物整備・保全事業(施設計画課)									
担当部署(R7年度機構)		部:	都市整備部	課:	施設計画課	区分	持続的事業				
基本項目	総合計画	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	維持管理区分			
		施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち				性質	交通・都市基盤			
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始: 不明 ~ 事業終了予定: 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	建築基準法(市有施設の12条点検実施に係る予算取りの見積支援)									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし 補助金性質: —									
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	市有建築物(学校以外)の利用者が安全かつ快適に利用することができる。									
	対象者(受益者)	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎等の市有建築物(学校以外)を管理する各施設所管課 庁舎等の市有建築物(学校以外)の利用者 									
	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 各施設所管部署が管理する市有建築物(学校以外)について、その施設の安全性及び機能性を維持し施設の延命化を図るために、計画的な改修が必要となる。 各施設所管部署が管理する市有建築物(学校以外)について、その施設の利用目的や状態の変化などに即した適切な整備・改修が必要となる。 									
	事業の概要	市有建築物の安全性及び機能性を維持し延命化を図るとともに、維持補修等にかかる経費の財政負担の平準化を図るため、平成23年4月に策定した「市有建築物保全計画」に沿い、計画的に事業を推進していく。									
年間の主な事務	<ul style="list-style-type: none"> 次年度に実施を予定する設計、工事について各施設所管課にカスタムアプリの登録依頼を行い、施設整備課、施設管理課と共有、整理する。 カスタムアプリに登録した各施設の次年度設計、工事について施設所管課にヒアリングを行い、必要に応じて現地調査を行い、実施の要否を決定する。 施設整備課、施設管理課が施設所管課から依頼を受けて実施する設計工事の予算見積のとりまとめを行い、必要に応じて財政課と情報共有を行う。 市有建築物(学校施設以外)の建築物定期点検について、施設所管課に対して次年度の予算取りに係る見積を実施する。 										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)											
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績					
	正職員		2.10人	—	—	—					
	再任用		0.00人	—	—	—					
	任期付職員		0.20人	—	—	—					
	会計年度任用職員		0.60人	—	—	—					
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—					
	附属機関委員		0.00人	—	—	—					
決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)			
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	17,146	—	—	—	—	—		
		会計年度任用職員	2,891	—	—	—	—	—			
		特別職非常勤	0	—	—	—	—	—			
		附属機関委員	0	—	—	—	—	—			
		人件費計	20,037	—	—	—	—	—			
	物件費計	5,532	—	—	—	—	5,649	97.9%			
	歳出計		25,569	—	—	—	—	—			
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	—	0			
		府支出金	0	—	—	—	—	0			
		受益者負担(使用料・手数料)	0	—	—	—	—	0			
市債		0	—	—	—	—	0				
その他		0	—	—	—	—	0				
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	—	—	—	—	0				
一般財源(物件費充当分のみ)		5,532	—	—	—	—	5,649				

(留意事項)
 ※正職員・再任用・任期付の
 人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算
 しています。
 ※「歳入」欄には物件費に
 充当されるもののみ記載
 されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 「市有建築物保全計画」に基づき、市有建築物を計画的に保全するために、更新工事の実施を進捗管理する。 【計画対象施設数】	施設	20 施設	— 施設	— 施設	— 施設

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル	説明	実施計画において各年度に予定されている更新工事の実施状況を進捗管理する。				
		実施計画に基づく各施設の更新工事を行った割合(※法定点検や施設状態を踏まえ実施時期を調整したものを除く)				
	指標	R6	R7	R8	R9	単位
		目標	100	100	100	100
	実績	100	—	—	—	%
算出方法	実施計画において、当該年度に予定されている更新工事の件数に対して、実施した更新工事の件数で算出する。					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

ロジックモデル	説明	—				
		—				
	指標	R6	R7	R8	R9	単位
		目標	—	—	—	—
	実績	—	—	—	—	—
算出方法	—					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

- ・市有建築物の長寿命化を図ることができる。
- ・維持補修に係る経費の将来的な見通しを把握し、財政負担の平準化を図ることができる。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市有建築物の安全性及び機能性を維持し延命化を図るとともに、維持補修等にかかる財政負担の平準化を図るため、令和3年2月に策定した「枚方市市有建築物保全計画第Ⅲ期実施計画」に基づき、工事実施に向けた庁内調整や計画の進捗管理を行った。また、総合福祉会館の新たな熱源システムの導入や受変電設備、照明設備等の更新にあたり、施設全体の省エネルギー化を推進するためのESCO事業の実施に向けて、公募型プロポーザル方式により事業者を選定した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	市有建築物保全計画第Ⅲ期実施計画(令和3年度～令和7年度)に基づき、施設所管部署とも連携を図りながら引き続き効率的・効果的な改修・更新工事を進めていく。また、第Ⅲ期実施計画が令和7年度末で計画期間を満了することから、令和8年度からの第Ⅳ期実施計画の策定に向けて取り組む。	R7年度方向性	現状維持
----------	---	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報		調査番号 428								
事務事業名称		学校整備・保全事業(施設計画課)								
担当部署(R7年度機構)		部:	都市整備部	課:	施設計画課	区分	持続的事业			
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	維持管理区分		
		施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				性質	子育て・教育		
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	○	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	事業期間	事業開始： 不明 ~ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)								
	根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律法律、建築基準法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律など								
	関係附属機関等	該当なし								
	関係補助金等	該当なし 補助金性質： —								
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	「枚方市学校整備計画」に基づき、適切な学校施設の整備が行われている状態。学校施設を利用する児童・生徒を主とした利用者が、安全で快適に利用できている。								
	対象者(受益者)	主に枚方市の公立小学校及び中学校に通学する児童・生徒を対象とするが、枚方市の公立小学校及び中学校を利用する市民全般についても対象とする。								
	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設を利用する児童・生徒を主とした利用者が、安全で快適に利用できるよう必要な施設整備や保全を実施する必要がある。 老朽化した学校施設が一斉に更新時期を迎えることになるため、施設の長寿命化や学校規模等の適正化を図る必要がある。 								
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全を行う。 国庫補助の対象となる学校施設整備については、学校施設環境改善交付金などの申請を行う。また、円滑な国庫補助金事務を遂行するため、学校施設台帳の整備や施設の解体や増築に伴う財産処分手続き、国・府からの各種調査への対応及び情報収集を行う。 建築基準法に基づき定期点検を実施する。 								
年間の主な事務	<ul style="list-style-type: none"> 次年度の国庫補助金対象事業を文部科学省へ提出 事前調査:5月ごろ 本調査:11月ごろ 5月1日時点の児童生徒数や教室利用状況をもとに学校施設台帳を整備して文部科学省へ提出 例年4~6月ごろ 建築基準法に基づき小中学校の定期点検を実施(3年ごとに実施:令和7年度実施) 施設の解体や増築に伴う財産処分手続きを実施 12月~3月ごろ 									

2. 事務事業への投入コスト(インプット)									
人員体制	(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績				
	正職員	3.90人	—	—	—				
	再任用	0.00人	—	—	—				
	任期付職員	0.80人	—	—	—				
	会計年度任用職員	0.20人	—	—	—				
	特別職非常勤	0.00人	—	—	—				
	附属機関委員	4.00人	—	—	—				
決算額	(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)		
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	33,989	—	—	—	—	
		会計年度任用職員	964	—	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—	—		
		附属機関委員	76	—	—	—	—		
		人件費計	35,029	—	—	—	—		
	物件費計	27,888	—	—	—	27,889	100.0%		
	歳出計	62,917	—	—	—	—			
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0	(留意事項)	
		府支出金	0	—	—	—	0	※正職員・再任用・任期付の人員費は、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。	
		受益者負担(使用料・手数料)	0	—	—	—	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。	
市債		0	—	—	—	0			
その他		0	—	—	—	0			
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	—	—	—	0				
一般財源(物件費充当のみ)	27,888	—	—	—	27,889				

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 学校施設環境改善交付金など国庫補助金の申請 【学校整備計画に基づく国庫負担(補助)金事業の申請対象数】	事業	59 事業	— 事業	— 事業	— 事業
② 学校用途外に伴う財産処分手続き	件	7 件	— 件	— 件	— 件
③ 国庫補助金事業にかかる契約及び支出の状況報告	回	12 回	— 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル	アウトプット①	説明	学校施設の長寿命化を図るため整備計画に示した改修工事を実施する。				
		指標	枚方市学校整備計画に基づく改修工事等の実施率				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	100	100	100	100	%
		実績	74	—	—	—	%
算出方法	枚方市学校整備計画(第2期実施計画)に示す改修工事のうち実施した割合。						

ロジックモデル	アウトプット②	説明	国庫補助の対象となる事業が採択され、交付金等が交付される。				
		指標	学校施設に係る国庫補助金事業の交付決定率				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	100	100	100	100	%
		実績	92	—	—	—	%
算出方法	国庫補助金(交付金・負担金)の交付申請額に対する交付決定された額の割合						

ロジックモデル	アウトプット③	説明	小中学校の校舎及び体育館の照明設備のLED化を進める。				
		指標	高効率(LED)照明の整備率				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	64.1	68.8	83.8	100	%
		実績	64.1	—	—	—	%
算出方法	全小中学校の校舎及び体育館の照明器具をLED照明機器に更新した割合						

ロジックモデル	アウトプット④	説明	「学校施設のエレベーター整備等に関する方針」に基づき、要配慮児童生徒の在籍校を優先に、エレベーターを整備する。				
		指標	エレベーターの整備率				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	16	21	27	35	%
		実績	16	—	—	—	%
算出方法	全学校のうちエレベーターが設置されている学校の割合						

説明 教室等の既存空調設備の更新について、DBO事業により効

直接アウトカム(結果による変化・便益)

ロジックモデル	アウトカム①	説明	—				
		指標	—				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
算出方法	—						

ロジックモデル	アウトカム②	説明	—				
		指標	—				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
算出方法	—						

ロジックモデル	アウトカム③	説明	—				
		指標	—				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
算出方法	—						

ロジックモデル	アウトカム④	説明	—				
		指標	—				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
算出方法	—						

説明 —

ロジックモデル	アウトプット⑤	明	率的に実施する。				
	指標		教室等空調設備の更新率				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	—	15	53	100	%
		実績	—	—	—	—	%
算出方法	DBO事業対象室(1,810室)のうち高効率空調に更新した割合						

ロジックモデル	アウトカム⑤	明	—				
	指標		—				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
算出方法	—						

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

・教室等の空調設備の更新にあわせて、小中学校の照明設備のLED化を行うことにより、ZEB Oriented(従来の建物で必要なエネルギーに対して省エネ率40%以上)相当以上を令和9年度末時点で63校中46校において達成(中間)
 ・「学校エレベーター整備等に関する方針」に基づき、全小中学校への設置に向けて計画的な整備に取り組む中、令和11年度末時点で、63校中31校(約49%)の設置を目指す。(中間)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	「枚方市学校整備計画」に基づき、財政負担の平準化を図りつつ、計画的に改修・更新工事を進めている。令和6年度は、当該計画に沿って施設の改修・更新工事、エレベーター整備などを実施し、施設の適正な維持保全を図るとともに、次期計画となる「枚方市学校整備計画 第2期実施計画」を策定した。また、禁野小学校の新校舎など国庫補助の対象となる施設整備について申請手続きを行うとともに、円滑な国庫補助金事務を遂行するため、施設台帳の整備や国・府からの各種調査への対応を行った。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	令和7年3月に策定した「枚方市学校整備計画 第2期実施計画」に基づき、新たに脱炭素化の推進やバリアフリー化など持続可能な教育環境の整備にも取り組みながら、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全を進める。また、国庫補助の対象となる施設整備について申請手続きを行う。	R7年度方向性	現状維持
----------	---	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 636	
事務事業名称		市有建築物アスベスト対策事業									
担当部署(R7年度機構)		部:	都市整備部	課:	施設計画課	区分	行政運営事業				
基本項目	総合計画	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	行政運営区分			
		施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤			
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始： 2005(H17)年度				～	事業終了予定： 未定(継続実施含む)				
	根拠法令等	市有施設の吹付けアスベスト等に係る飛散防止に関する指針									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし									補助金性質： —
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	適切な監視により、アスベストの飛散がなく安心して施設を利用できている。									
	対象者(受益者)	主に対象施設を管理する施設所管部署の職員を対象とするが、対象施設の利用者についても対象とする。									
	現状・課題	対象施設のアスベストの飛散防止のために適切な監視が必要である。									
	事業の概要	アスベスト含有吹付け材が使用されている施設(対象施設)において、「市有施設における吹付けアスベスト等の管理マニュアル」に基づきアスベスト含有吹付け材の劣化状況の目視点検及び室内空気濃度調査を実施する。									
年間の主な事務	<ul style="list-style-type: none"> 市有施設室内空気中アスベスト濃度調査業務委託の発注、契約後に施設所管課と調査日の調整 濃度調査測定箇所(2施設、合計5箇所)のアスベスト劣化状況に関する目視点検 アスベスト濃度調査業務の結果受領、所管課と情報共有、環境政策課にホームページ更新依頼 										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)						
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		0.30人	—	—	—
	再任用		0.00人	—	—	—
	任期付職員		0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員		0.00人	—	—	—
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—
	附属機関委員		0.00人	—	—	—

決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	2,306	—	—	—		
			会計年度任用職員	0	—	—	—		
			特別職非常勤	0	—	—	—		
			附属機関委員	0	—	—	—		
			人件費計	2,306	—	—	—		
			物件費計	99	—	—	330	30.0%	
			歳出計	2,405	—	—	—		
	歳入		国庫支出金	0	—	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。
			府支出金	0	—	—	—	0	
		受益者負担(使用料・手数料)	0	—	—	—	0		
		市債	0	—	—	—	0		
		その他	0	—	—	—	0		
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	—	—	—	0		
		一般財源(物件費充当のみ)	99	—	—	—	330		

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 対象施設(2施設)について、アスベスト含有吹付け材の劣化状況の目視点検及び室内空気濃度調査を実施する。	箇所	5箇所	—箇所	—箇所	—箇所

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)							直接アウトカム(結果による変化・便益)								
ロジックモデル	アウトプット①	説明						アウトカム①	説明						
		指標	R6	R7	R8	R9	単位			R6	R7	R8	R9	単位	
		目標								目標					
		実績								実績					
		算出方法								算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

--

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	アスベスト含有吹き付け材が使用されている市長部局施設(2施設・5箇所)について、室内空气中アスベスト濃度調査を行った。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	劣化状況の目視点検及び空気濃度調査を実施し、必要に応じ除去工事の検討を行い適切な飛散防止対策を図る。	R7年度方向性	現状維持
----------	--	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
			拡充	現状維持	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 954	
事務事業名称		施設計画課運営事務									
担当部署 (R7年度機構)		部:	都市整備部		課:	施設計画課		区分	行政運営事業		
基本項目	総合計画	基本目標	9. 施策体系外					細区分	行政運営区分		
		施策目標	99. 施策体系外					性質	内部事務・行政運営		
	市長公約との関係性	所信表明 (R5年9月)	—		市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	事業期間	事業開始: 不明 ~ 事業終了予定: 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	枚方市事務決裁規定									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし 補助金性質: —									
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		課の運営事務が円滑に実施できている。								
	対象者(受益者)		主に課の所管事務を行う職員を対象とするが課の所管事務に関わる他部署の職員についても対象とする。								
	現状・課題		課の運営事務を円滑に実施する必要がある。								
	事業の概要		課の運営事務。								
年間の主な事務		<ul style="list-style-type: none"> ・各課や国・府からの照会等に係る回答事務 ・課予算及び決算等に係る事務 ・公用車の管理事務 									

2. 事務事業への投入コスト(インプット)							
人員体制			(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員			0.70人	—	—	—
	再任用			0.00人	—	—	—
	任期付職員			0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員			0.00人	—	—	—
	特別職非常勤			0.00人	—	—	—
	附属機関委員			0.00人	—	—	—

決算額			(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	5,382	—	—	—	—	—	—
			会計年度任用職員	0	—	—	—	—	—	
			特別職非常勤	0	—	—	—	—	—	
			附属機関委員	0	—	—	—	—	—	
		人件費計		5,382	—	—	—	—	—	
	物件費計		4,112	—	—	—	4,867	84.5%		
	歳出計		9,494	—	—	—	—	—		
	歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。	
		府支出金		0	—	—	—	0		
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0				
市債		0	—	—	—	0				
その他		0	—	—	—	0				
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	—	—	—	0	—			
一般財源(物件費充当のみ)		4,112	—	—	—	4,867	—			



3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			—	—	—

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)						直接アウトカム(結果による変化・便益)									
ロジックモデル	説明						説明								
	指標		R6	R7	R8	R9	単位	指標		R6	R7	R8	R9	単位	
		目標							目標						
		実績							実績						
算出方法						算出方法									

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

--

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	庁内外への照会・回答処理事務、他課依頼事業の連絡調整事務など、課の運営事務を実施した。また、突発的に発生した業務については都度ミーティングを行い、担当者ごとの業務量の調整を図りながら運営事務の効率的・効果的な執行に努めた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	他部局と連絡、調整を図りながら、正確かつ迅速に事務処理を行い、円滑な事務執行を行う。	R7年度方向性	現状維持
----------	--	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—